

第2回高知県中小企業・小規模企業振興審議会以降における主なご意見への対応について

資料1-1

項目	概要	対応	
		対応策	指針（案）への反映状況 （〔該当箇所〕は「資料2新旧対照表」に対応）
1	○商工労働部がとりまとめているため、産振系の記載が色濃く出ているのではないかと。他の業種についても業界団体の意見を踏まえて十分に記載されているのか分からない。	・指針（案）に反映 ⇒産振系以外の業種（健康、福祉、交通運輸、建設等）の視点を反映（関係団体へ意見照会実施（資料1-3参照））	全文に反映
2	○網羅的に記載されているが、 <u>当面力をいれる事項等もあるはずなので、それが分かるような記載をすべきではないか。</u>	・指針（案）に反映 ⇒指針の「（1）考え方」に反映	<p>該当箇所 P. 5</p> <p>「中でも、事業継続に欠かせない担い手の確保とともに、成長につながるデジタル化、グリーン化、グローバル化については、特に重点的に取り組んでいきます。」</p>
3	○指針を見ると、全部県がやってくれると読める。事業者自らが責任を持ち、持続と成功を目指していかないと支援をしないという姿勢もそろそろ必要なのではないか。	・「支援のあり方」は指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置づけるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向【施策における支援のあり方】に反映	<p>該当箇所 P. 6</p> <p>「中小企業等の継続・成長を実現していくためには、条例第5条に規定されている様に、中小企業等による自主的な経営の向上及び改善が前提となります。」</p>
4	○事業者のやる気、事業者への伴走支援といったことが書かれているが、そもそもの「需要の喚起」「交流人口の拡大」といった、1事業者で難しい部分について、行政が果たす役割があるようにも感じる。	・「支援のあり方」は指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置づけるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向【施策における支援のあり方】に反映	<p>該当箇所 P. 6</p> <p>「事業者単体では取り組むことが困難な需要の喚起や、交流人口の拡大などに取り組むことも重要です。」</p> <p>・需要の喚起や交流人口の拡大</p>
5	○1社で取り組むのではなく、複数社で取り組むという視点が必要ではないか。 <u>取り組むにあたり、ツールとしてデジタルを活用していく。今のデジタル化はコンピューター化することではなくて、連携していく、つながる、それがデジタル化。つながることで、効果が上がることになるから、その視点を入れていただきたい。</u>	・「デジタル化」は指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置づけるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向【施策における支援のあり方】に反映	<p>該当箇所 P. 6</p> <p>「経営資源に限りのある中小企業等においては事業者間のつながりによる事業展開も有効な手段となることから、デジタル技術を活用した事業者同士の連携も促進していく必要があります。」</p> <p>・デジタル技術を活用した事業者連携の促進</p>

第2回高知県中小企業・小規模企業振興審議会以降における主なご意見への対応について

資料1-1

項目	概要	対応	
		対応策	指針（案）への反映状況 （〔該当箇所〕は「資料2新旧対照表」に対応）
6	生産性の向上 ○「継続的に業務の効率化や省力化を進めること」が「国内外の市場において「外商」をさらに推進していく」ことにつながらないのではないか。 ○「このため……」のセンテンスが「例えば……」を受けているように読める。 ○「増加する介護需要に対しては」は「対しても」ではないか。 ○具体例にある「建設現場における……」は、建設現場に限らないのではないか。	・「②生産性の向上」の記載を修正することとする。	<p>該当箇所 P. 7</p> <p>「担い手が減少する中、中小企業等が地域地域で事業を継続していくため、また、国内外の市場において「外商」のさらなる推進を目指して競争力を強化するためにも、継続的に業務の効率化や省力化を進めることが必要です。</p> <p>また、例えば、増加する介護需要に対しても、担い手不足の中で介護の質を維持・向上し、介護施設が地域での役割を継続的に果たしていくために、業務改善に向けた課題の分析と実践による業務の切り分けやデジタル技術の活用による業務効率化・省力化を進めることが必要です。</p> <p>このため、県では、関連支援機関との連携強化や外部アドバイザーの積極的活用、デジタル技術の活用を促進することなどにより中小企業等の生産性の向上に取り組みます。</p> <p>・建設や介護等現場におけるICT機器等の導入・活用、研修の実施等による技術向上への支援」</p>
7	ニーズ把握 ○ニーズ把握は、個々の業者が絶対しなくてはいけないこと。出来ない生き残っていけないという覚悟をもたないといけない。新しいニーズをもっと学べる機会を増やしていくことが大事。	・「ニーズ把握」は、指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置付けるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向「③新たな技術、製品及びサービス等の開発の促進」に反映	<p>該当箇所 P. 8</p> <p>・多様化するニーズを学べる機会の創出</p>
8	新たな製品等の開発 ○「農業や製造業、運輸業等……」とあるが、運輸業が物流という意味なら、物流は卸・小売業が担っていると思うので、卸・小売業の記載がなくてよいのか。	・「③新たな技術、製品及びサービス等の開発の促進」の記載を修正することとする。	<p>該当箇所 P. 8</p> <p>「農業や製造業、サービス業と連携し、デジタル技術を活用しながら各分野の課題解決に資する新たな仕組の構築に取り組みます。」</p>
9	創業 ○事業者が新たに事業を始めようとする場合に、相談窓口がどこかが分かりにくいというため、そういったところに気配りをしていただけよう指針に盛り込んでいただきたい。	・「創業」は、指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置付けるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向「⑤創業及び新たな事業の創出の促進」に反映	<p>該当箇所 P. 9</p> <p>・新たな事業の創出等に関する相談機能の強化</p>

第2回高知県中小企業・小規模企業振興審議会以降における主なご意見への対応について

資料1-1

項目	概要	対応	
		対応策	指針（案）への反映状況 （〔該当箇所〕は「資料2新旧対照表」に対応）
10	エンターテイメント ○エンターテイメント業界は、今後も伸びる余地がある分野であることから、「エンターテイメント」に関する内容を指針に明示できないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「エンターテイメント」は、指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置付けるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向「⑦中小企業・小規模企業の振興に資する企業誘致の推進」に反映 	<p>該当箇所 P. 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な雇用の創出や地域経済の活性化につながるコンテンツ産業等の魅力ある企業の誘致
11	人材育成及び確保 ○生産性の向上は大事なポイントである。社員教育にしっかり取り組み、生産性の高い人材を養成していく必要がある。 ○例えば高知県でも看護師の資格を持っており、働ける人はまだいると思うが、働いてない人がたくさんいる。そのような働いていない方々を、発掘すること、働ける環境をつくることや、また、今働いている人がスキルアップすることで、対応できる仕事の内容を増やすことが重要なのではないか。 ○今後の労働力人口を考えると女性が活躍できる社会というのが必然であることから、その観点を大事にしていきたい。 ○介護福祉部門では日本人だけでなく、外国人留学生が資格を取得し、大きな担い手の役割を果たしている実態があるため、外国人材について明示してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「人材育成」は、指針（案）の「第2章. 施策の基本的方向」に位置付けるとともに、施策を検討する際に視点として取り入れていく。 ⇒施策の基本的方向「⑩事業活動を担う人材の育成及び確保」に反映 	<p>該当箇所 P. 13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者等の再就職支援 ・OJTやリカレント教育による人材育成 ・女性や外国人など多様な人材が多様な働き方により活躍できる職場環境づくりの促進
12	コロナ対応 ○アフターコロナを見据えたところがあるが、アフターコロナになってくれるのいいが、ウィズコロナの場合にどうするのかといった視点が必要なのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ対応」は、指針（案）全体を通し「ウィズコロナ・アフターコロナ」の両面の視点を反映するとともに、施策を検討する際の視点として取り入れていく。 	全文に反映
13	PDCA ○産振計画等の関係などが分かるようなインデックスになれば、委員も、産振計画の委員である方ない方等いることから、個別の課題の話がでると、それは産振計画の何項目にあり、そちらでPDCAが回っているということになり、話が早く進んでいくのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・指針のPDCA管理手法として取り入れることとする ⇒指針策定以降の審議会で活用 	